



〈クラスの様子〉

9月は本当に暑い日が続いていましたが、子どもたちはとても元気でことり組は「欠席ゼロ」という日がどのクラスよりも多かったです。お母様方の体調管理はもとより、子どもたちの体力の増加や成長を感じています。

運動会を控え、暑い中芝生で練習していても、「暑い～！！」と言いながら、とても頑張っています。頑張る心は日々の生活の中できちんと子どもたちの中に育っていて、私たちは子ども達に寄り添ってその気持ちを支えることが保育だと感じています。

〈もうすぐ運動会〉

運動会に向けて、子どもたちの心の準備もできてきました。かけっこをするにあたり、お人形を使って色々なお友達が登場させ、頑張れる子はどんな子かをみんなで考えました。「ほくは、最後まで頑張ったトモちゃん(お人形の名前)がかっこいいと思うよ！」など子ども達から意見が出たことが、とても素晴らしいと思いました。1学期にはなかった気持ちや自分で考えたことを表現できるようになり、2学期に入って飛躍的に成長していることを実感しています。ダンスの練習も指人形の「スー」を使ってセリフを言うと、みんなも一緒に言ってくれたり、「先生、今日はまだスー踊ってないよ。」と言ってクラスみんなが楽しんで踊っています。当日の運動会もみんなが楽しみにしています。

〈お芋ほりに行きました！〉

お芋ほり遠足の前、みんなでお芋がどこに育つのか調べてみました。「木になっている?」「お花みたくに生えている?」「土の中で眠っている?」・・・大人たちには当たり前のことも子どもたちは真剣に考えては「?」を頭の上にかくさん乗せていました。

絵本でわかりやすく説明して、『葉っぱはハート形で土の中に埋まっている。』ということがわかりました。

ところが、「土の中のお芋はどうやって見つけたらいい?」見えないものを探す・・・子ども達には未知の体験です。とにかく掘るしかないのですが、わかりにくいのでお芋ほりごっこをすることにしました。保育室を畑に見立て、白い線を引き、背の順に並んで畑まで歩きます。ごっこ遊びですが、子どもたちの表情は真剣そのもの・・・。「線の端から次の線までとにかく掘ってね。」という子どもたちは大真面目に掘れない保育室の床を掘っていました。

そしていざ本番。保育室のイメージが形としてつながったように、「掘るぞー!!」と勢いよくお芋を掘ることり組さんの姿がありました。

畑では収穫したお芋が重くて「運べない・・・」と泣いてしまう子や他の学年の子のお手伝いに行く子、色々な姿が見られましたがどの子も楽しみ、秋の実りを収穫する喜びを感じられたと思います。

後日、どうやってお芋を食べたのかな?と聞くと第一位は『やきいも』でした。自分たちで収穫したお芋の味は格別だったようです。

〈課外活動が始まります〉

10月より、午後の課外活動が始まります。体験などをされて、申し込みしたいお教室なども決まり始めていると思います。活動の内容によっては子ども達も疲れたり、興奮したり緊張することもあるかと思えます。

各ご家庭で体調管理などに気を付けてお過ごしください。

